

2024 年 3 月 18 日

データ利活用ツール「^{タブロー}Tableau」の活用開始について

めぶきフィナンシャルグループの常陽銀行（頭取 秋野 哲也）と足利銀行（頭取 清水 和幸）は、データ利活用の促進や意思決定の迅速化を目的に、BI ツール「Tableau」の業務活用を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

「Tableau」は、行内で保有しているビッグデータ（大量データ）をグラフや図などの理解しやすい形に可視化し共有することが可能で、閲覧者（主に経営層・管理者層）は、意思決定に必要なさまざまな切り口の分析をワンクリックで行うことができます。

データ編集作業においては、GUI※¹ による作業履歴の保存・再利用が可能なため、定期的な資料作成の自動化や正確性の向上、作業の属人化防止等にも寄与します。

めぶきフィナンシャルグループは、今後も BI ツールを積極的に活用することで経営効率を高め、安定した経営基盤の確立を図るとともに、行内活用で得た知見を地域に還元してまいります。

※1 GUI:「Graphical User Interface」の略。コンピュータへ出す命令を、プログラムコードを用いずにユーザが画面上のアイコンをドラッグ＆ドロップの要領で視覚的に指定できる操作画面。

記

1. 「Tableau」の活用業務

- ・ 経営ダッシュボード（主要計数や管理指標を迅速かつタイムリーに把握）
- ・ 定例会議資料に必要なグラフや表の作成
- ・ さまざまな形式のデータを統合し、分析・可視化

2. 活用開始時期

- ・ 足利銀行 2023 年 11 月 20 日（月）
- ・ 常陽銀行 2024 年 3 月 11 日（月）

3. 今後の計画

行内業務やお客さまとの接点において発生するさまざまな情報のデータ化を行います。分析対象のデータ範囲を拡大し、より付加価値の高いサービス提供や効率的な経営の実現に向けてデータ利活用を加速させてまいります。

以 上

(別紙)

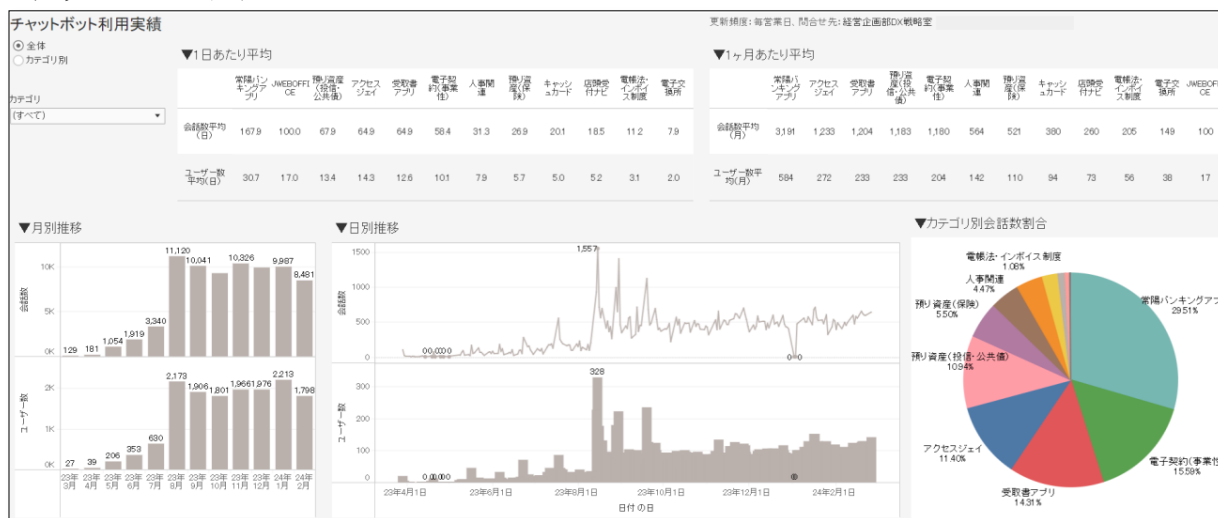
行内における「Tableau」の活用事例

【AI チャットボット※2 利用実績】

行内の問い合わせ内容や傾向を日次で把握することができます。さまざまな情報の分析から、わかりづらい点を改善することで、電話での問い合わせ件数の削減につなげます。また、あらたなサービスの創出に活用することも検討しています。

※2 行内の問い合わせに対し、人工知能（AI）を活用して自動で回答を表示するサービスです。随時問い合わせをすることができ、質問に迅速に回答するだけでなく、行内の知識ベースを構築し、効果的な情報共有を実現します。

<ダッシュボードイメージ>



【来店予約サービス利用件数】

来店目的の動向や、来店予約サービスの利用浸透度を把握できます。店別や日付別などのさまざまな切り口のデータを集計でき、ワンクリックで要因分析が可能です。

<ダッシュボードイメージ>

